

業況観測アンケート（平成30年度 第2四半期）調査結果
（前年同期比）

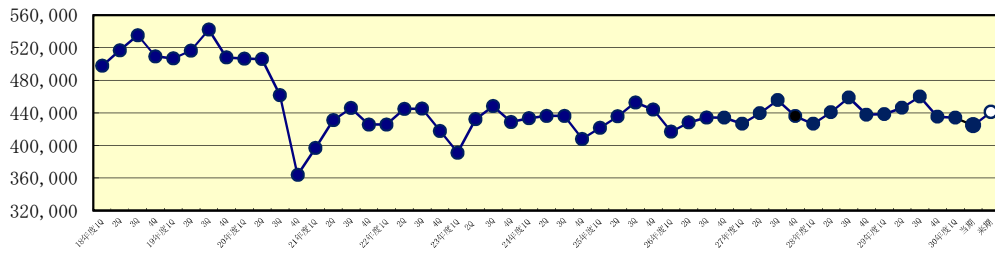
H30.10.17

集計企業数 33社

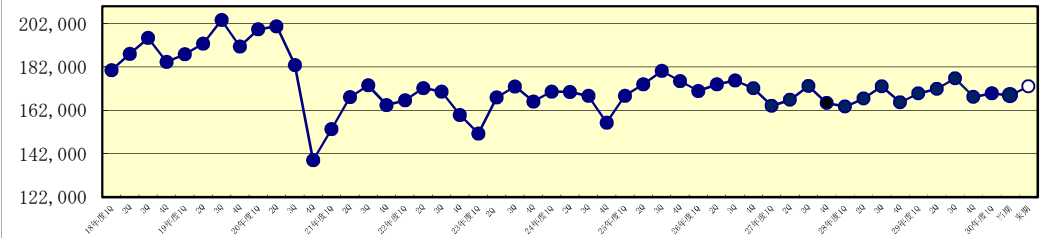
（アンケート値指数換算）

	出荷数量 動向			出荷金額 動向			製品在庫 (期末)			製品価格 動向		
	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期
+50%超	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+45%~+50%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+40%~+45%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+35%~+40%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+30%~+35%未満	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+25%~+30%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+20%~+25%未満	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+15%~+20%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
+10%~+15%未満	0.0	0.0	0.0	1.2	1.0	1.0	0.1	0.1	0.3	0.4	0.4	0.4
+5%~+10%未満	1.0	0.0	0.0	0.3	0.4	0.4	16.3	3.0	1.4	0.0	0.0	2.0
+5%未満	13.7	2.9	6.8	3.1	9.2	15.5	1.4	10.5	15.8	18.7	23.5	21.7
± 0%	0.7	0.4	2.1	9.5	4.9	4.7	7.4	8.5	6.9	8.3	4.8	5.3
-5%未満	16.3	23.4	21.7	18.1	15.4	11.3	4.6	10.2	1.1	5.6	4.0	3.3
-5%~-10%未満	1.1	4.4	1.9	0.7	2.2	0.2	2.8	0.3	7.4	0.0	0.3	0.0
-10%~-15%未満	0.0	1.8	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
-15%~-20%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
-20%超	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

出荷数量動向（トン）



出荷金額動向（百万円）



業種別動向観測アンケート（平成30年度第2四半期）調査結果

H30.10.17

（前年同期金額比）

集計企業数 31社

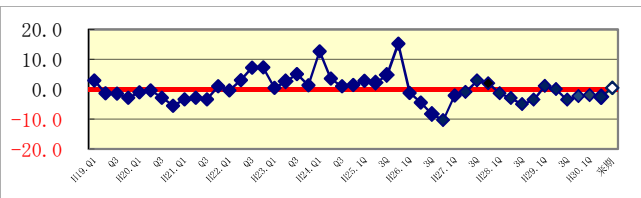
当期(7~9月)実績

建築	建築資材	道路車両		船舶・構造物	機械・電気機械・金属	木工製品	家庭用	トラフィックペイント
		新車	補修					
-2.5	-2.7	-0.5	-0.1	-6.1	1.8	-2.8	-2.4	-8.0

メーカーのコメント例

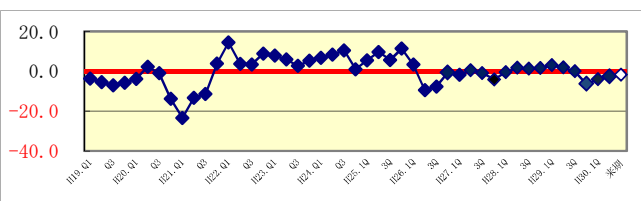
建築・外装

・来年の消費増税前の駆け込み需要が期待されるものの、豪雨、猛暑、台風などの影響を受けたユーザーが多く、低調に推移した。



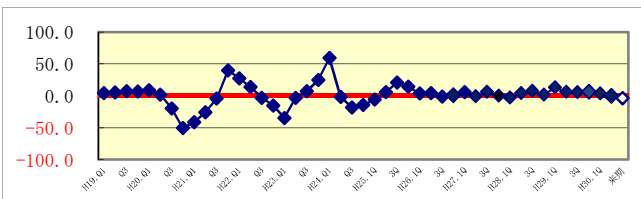
建築資材

・住宅着工件数は前年度比マイナス傾向にあり総じて低調であるが外装材のリフォーム需要やオリンピック需要により窯業系建材、アルミ建材は概ね堅調に推移。



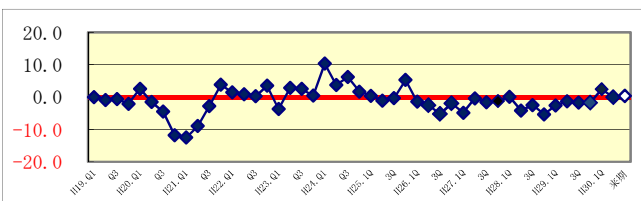
新車

・台風、豪雨、地震が自動車生産に少なからず影響し、ややマイナス推移となった。
・内装、プラスチック用途は好調なところもあったが概ねマイナス推移。



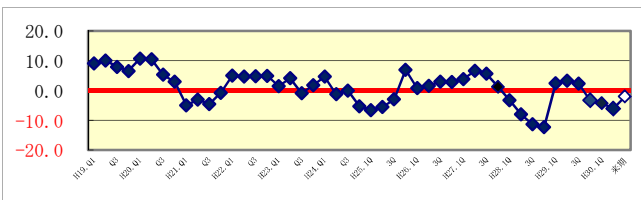
補修

・事故率低下、保険料率改定等の影響により市況は低調に推移。
B P修理対象の入庫は減少傾向にあるが大型車の架装分野における需要は底堅い。



船舶・構造物

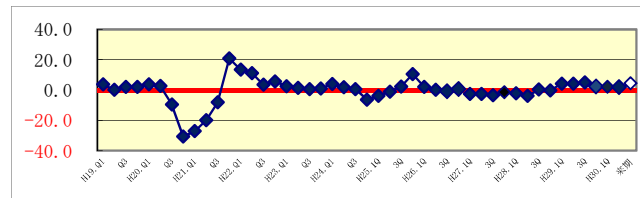
・新造船需要は依然低調。造船各社は中韓との競争激化で海外含めた業務提携等で再起目指す動き。価格要求は厳しき増す。
・構造物は工事遅延等で低調。



メーカーのコメント例

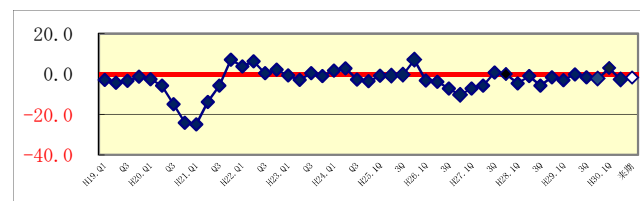
機械・電気機械・金属製品

・業種間差は見られるが電気・工作機械、建設機械は総じて堅調に推移。顧客の輸出需要も後押し。



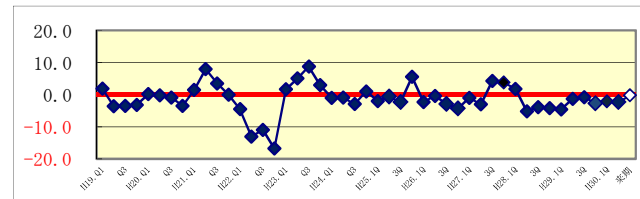
木工製品

・シート貼り仕様の影響、住宅着工件数は前年度比マイナス傾向など市場は依然厳しい状況が続く。
また、国内木製家具に対し海外低価格帯が増加傾向。



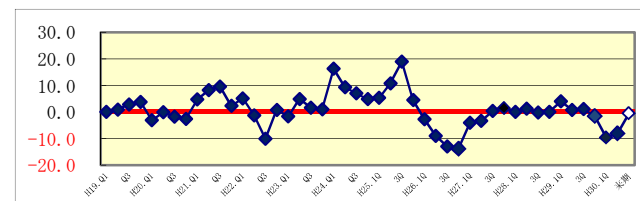
家庭用

・猛暑や台風等の天候不順の影響により個人消費が伸びず、低迷。
10月以降の需要に期待。



トラフィックペイント

・豪雨や台風等の自然災害により土木工事が増え、舗装道路の修復は大幅な遅れが出ている。地域によっては、当面この状況が続くことが懸念される。



◆ 業種別動向観測アンケート（四半期）の回答の「前期」・「当期」データを月次の解析方法に従って計算した。
◇ 「来期予測」回答データを同様に計算した。

全体

・工業用（機械、電気機械等）は輸出需要の後押しもあり、需要増。一方第2Qで頻発した天災の影響を受けた需要分野は厳しい状況。原料、運賃の高騰が収益を圧迫。

